

再評価結果(令和7年度事業継続箇所)

担 当 課:道路局 環境安全・防災課

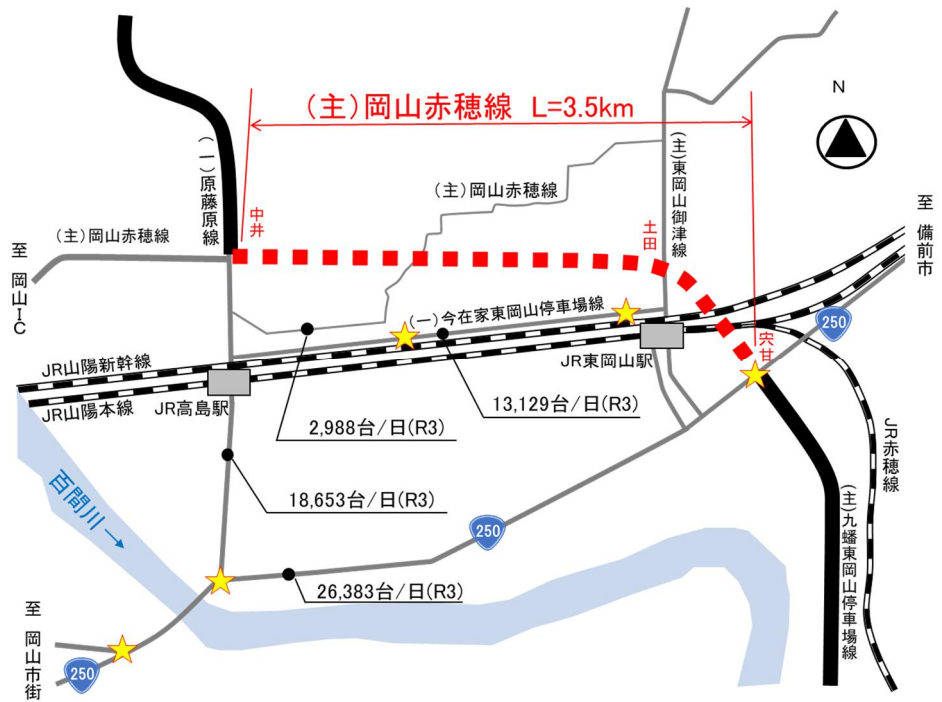
担当課長名:水野 宏治

事業名	地域高規格道路 岡山環状道路 主要地方道 岡山赤穂線（中井～宍甘）				事業区分	地方道	事業主体	岡山市
起終点	自：岡山県岡山市中区中井 至：岡山県岡山市東区宍甘						延長	3.5km
事業概要								
主要地方道岡山赤穂線は、地域高規格道路岡山環状道路の一部を構成する道路であり、市街地の渋滞緩和や交通事故減少等を目的とし岡山県岡山市中区中井～岡山県岡山市東区宍甘までの延長約3.5kmを整備するものである。								
H27年度事業化			S44年度都市計画決定 （H26年度変更）		H28年度用地着手		H28年度工事着手	
全体事業費		約377億円		事業進捗率		約41%	供用済延長	— km
計画交通量		28,300～35,300台／日						
費用対効果分析	B/C	EIRR	総費用		総便益		基準年	
	（事業全体）	（事業全体）	（残事業）/（事業全体）		（残事業）/（事業全体）			
	1.1		167/391 億円		444/444 億円			
	1.9 [2%]	4.4%	事業費：164/388億円		走行時間短縮便益：392/392億円		令和6年	
	2.5 [1%]		維持管理費：3.6/3.6 億円		走行経費減少便益：44/44 億円			
	（残事業）	（残事業）	更新費：-/- 億円		交通事故減少便益：8.4/8.4億円			
（参考）	2.7		感度分析	（事業全体）		（残事業）		
	4.1 [2%]	10.2%		交通量	B/C=1.0～1.2（±10%）	交通量	B/C=2.4～2.9（±10%）	
	5.3 [1%]			事業費	B/C=1.1～1.2（±10%）	事業費	B/C=2.4～2.9（±10%）	
				事業期間	B/C=1.0～1.3（±20%）	事業期間	B/C=2.4～2.9（±20%）	
事業の効果等								
・中心市街地への流出入交通を適切に分散・誘導し、交通混雑の緩和や事故発生件数の低減を図る ・環状道路沿線には防災拠点が多数立地しており、緊急時の輸送ルートの確保を図る ・地域の生活道路に流入している通過交通を環状道路に誘導することにより生活環境の改善を図る								
関係する地方公共団体等の意見								
地元町内会は工事施工について協力的であり、早期完成を望む声強い								
事業評価監視委員会の意見								
事業継続を妥当と認める								
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等								
特になし								
事業の進捗状況、残事業の内容等								
用地進捗率 約37%、事業進捗率 約41%								
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等								
DIDを含む人口密集地の用地取得や移転補償交渉に時間を要しているため 今後も鉄道立体交差部（（主）東岡山御津線～国道250号）の工事を推進するとともに、（一）原藤原線～（主）東岡山御津線の用地取得を進めていく								
施設の構造や工法の変更等								
今後も新技術の採用や工法の見直しによる工事コストの縮減等、総コストの縮減に努めていく								
対応方針		事業継続						
対応方針決定の理由								
事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため								

事業概要図



凡例	
開通済	——
事業中	■■■■
主要渋滞箇所	★



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。

※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。(〔 〕内は社会的割引率の値)